

←チャンネル1(CPU)  
ファン回転数表示部

←チャンネル1(CPU)温度表示部

←チャンネル2(VGA)  
ファン回転数表示部

←チャンネル2(VGA)温度表示部

←チャンネル3(システム/ケース内)  
ファン回転数表示部

←チャンネル3(システム/ケース内)  
温度表示部

【アラーム設定温度】

- ・CPU : 65℃
- ・VGA : 55℃
- ・システム/ケース内 : 45℃

※アラーム設定温度は工場出荷段階でプリセットされており、ユーザーによる任意の変更は出来ません。

【アラーム動作について】

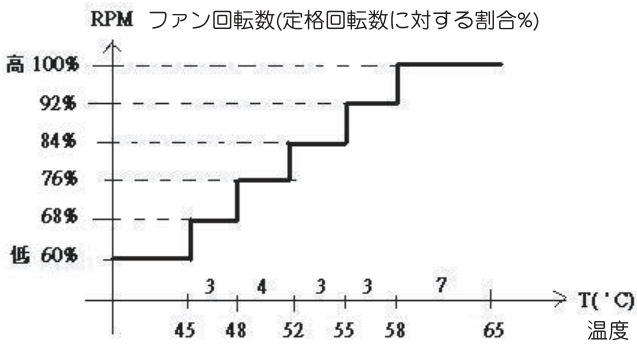
・ファン : 接続されたファンの回転が止まった時にアラーム音が約20秒間鳴ります。同時にLCDインジケーター内のファン回転数表示部の外周円(黄色の円)が0.5秒間隔で点滅します。この点滅はファンが正常動作状態に戻るまで継続されます。  
※ファンが接続されていないチャンネルについてもファン回転数表示部の外周円(黄色の円)は点滅状態になりますがアラームは鳴りません。

・温度 : 計測温度がアラーム設定温度を超えるとアラーム音が約20秒間鳴ります。同時にLCDインジケーター内の温度表示部の内周円(赤色の円)が0.5秒間隔で点滅します。この点滅は温度がアラーム設定温度以下に戻るまで継続されます。

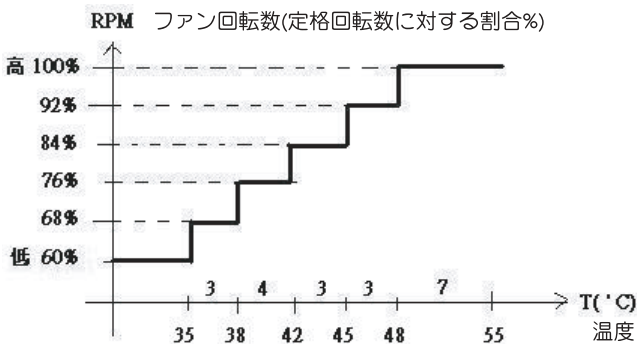
■ファン回転数設定 (全自動)

この設定はプリセットされておりますのでユーザーによる任意の変更は出来ません。

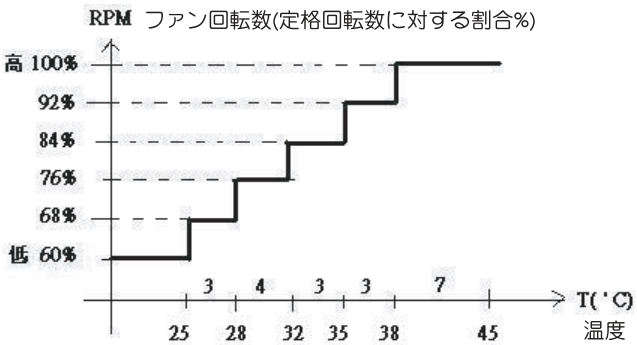
温度1(CPU) アラーム設定温度: 65℃



温度2(VGA) アラーム設定温度: 55℃



温度3(システム/ケース内) アラーム設定温度: 45℃



【ファン回転数について】

各チャンネルのファン回転数設定については左図のグラフを参照し、ご使用環境によるおおよそのファン回転数を算出して下さい。

例:

チャンネル3(システム/ケース内)に定格1500rpmのファンを接続した場合、ケース内温度が25℃未満の場合は  $1500 \times 60\% = 900\text{rpm}$  前後で回転します。  
25℃~28℃の範囲では  $1500 \times 68\% = 1020\text{rpm}$  前後、以降左図グラフに記載の温度範囲および負荷(%)で回転数は上昇を続けます。

【フロントパネルの取り外し】

3.5/5インチベイ用デバイスのインストールを容易にするため、フロントパネルは工具無しで取り外しが可能です。  
フロントパネル下部を手前に引き、取り外して下さい。取り外したフロントパネルを再び取り付ける場合はそのままケース本体に押し込んで下さい。

【ケース内ケーブルコネクタについて】

1) オーディオ/USB/IEEE1394ケーブルコネクタ



左図のようにそれぞれブロック状のコネクタおよび分離式コネクタのどちらかをマザーボードに接続する形となります。お使いのマザーボードのヘッダピン形状に合わせての排他利用となりますのでご注意ください。

2) 温度センサーケーブル



左図の温度センサーケーブルを任意の計測場所に設置して下さい。設置の際は温度センサー素子(先端部)に圧力がかからないようご注意ください。  
(例)CPUクーラーとCPUの間などは設置不可

3) ファンコントローラー



左図の3ピンオスコネクタにお使いのファンを接続して下さい。4ピンコネクタタイプのファンはパルス信号線がないため3ピンコネクタに変換して接続されても本ファンコントローラーの機能はお使いになれません。  
左図の4ピンコネクタは電源供給用となりますのでご使用の電源と接続して下さい。4ピンコネクタタイプのファンを接続しないようご注意ください。